

社会福祉

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授		
担当講座・学科(分野)	看護学部		
対象学年	1	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

人は病気になり医療を受ける際に心理・社会的な影響を大きく受ける。特に入院が必要となった場合には、家族・経済・就労といったさまざまな要因が当事者の生活に影響をあたえる。本科目では、疾病から人が受ける社会的な影響を検討し、福祉というセーフティーネットがどのように機能するのかを学ぶ。病気の部分だけに焦点を当てるのではなく、看護を学ぶ上で全人的な視点をもって人に接することを理解する。

・教育成果（アウトカム）

医療に加え、社会福祉の仕組みや役割を理解することにより、包括的な視点で看護を提供できる。さらには、医療職だけではなく、福祉の専門職などを含めた多職種の役割や連携の重要性を理解し、説明することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 5, 6

・到達目標（SBO）

1. 我が国の社会福祉政策の現状と課題を理解できる
2. 社会福祉に関わる機関や職種の活動について説明できる。
3. 社会保険制度について説明できる。
4. 社会福祉制度について説明できる。
5. 岩手県における社会福祉の実践事例について説明できる。

・授業日程

(矢) 西 1-A 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
5/12	水	1	看護学部	工藤 一恵 非常勤講師	<p>社会福祉の動向と課題</p> <p>【講義と課題への取組】</p> <p>・社会福祉制度に係る動向と課題について理解できる。</p>
5/19	水	1	看護学部	工藤 一恵 非常勤講師	<p>社会福祉に関わる機関と役割</p> <p>【講義と課題への取組】</p> <p>・社会福祉を担う組織と職種の活動の実際について説明できる。</p>
5/26	水	1	看護学部	工藤 一恵 非常勤講師	<p>社会保険制度の動向</p> <p>【講義と課題への取組】</p> <p>・医療保険や年金保険他、社会保険制度の概要について説明できる。</p>
6/2	水	1	看護学部	工藤 一恵 非常勤講師	<p>児童家庭福祉に関する制度・施策</p> <p>【講義と課題への取組】</p> <p>・児童や女性を対象とするサービスの概要について説明できる。</p>
7/7	水	1	看護学部	工藤 一恵 非常勤講師	<p>高齢者福祉に関する制度・施策</p> <p>【講義と課題への取組】</p> <p>・介護保険等に基づくサービスの概要について説明できる。</p>
7/14	水	1	看護学部	工藤 一恵 非常勤講師	<p>障害者福祉に関する制度・施策</p> <p>【講義と課題への取組】</p> <p>・障害者総合支援法等に基づくサービスの概要について説明できる。</p>

7/21	水	3	看護学部	工藤 一恵 非常勤講師	公的扶助に関する制度・施策 【講義と課題への取組】 ・生活保護制度や生活困窮者自立支援制度等の概要について説明できる。
7/28	水	1	看護学部	工藤 一恵 非常勤講師	地域福祉活動の実際 【講義と課題への取組】 ・地域における福祉活動について説明できる。

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度 ③社会福祉 第13版	西村淳、他著	メヂカルフレンド社	2020

・成績評価方法

以下のとおり、レポート並びに講義中の態度について総合的に評価を行う。

- 1 レポート 50%
 - ・講義終了後、学修した内容に係るレポートを作成し、講師が指示した期日までに提出する。
- 2 講義中の態度 50%：
 - ・レスポンスカードの提出（20%）
 - ・講義時に指示した課題への取組態度（15%）
 - ・傾聴態度（15%）

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

1. 事前学修は、各回の授業内容と到達目標を確認し、教科書の該当箇所を精読すること。
2. 事後学修は、教科書の他、配布した資料を基に振り返りを行うこと。
3. なお、事前、事後学修の時間は、概ね 30 分程度とする。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

1. 本科目では、社会福祉に関する制度や実践事例について、講義と課題への取組を通じて学ぶ。
2. 講義中にスマートフォン等を活用した課題に取り組んでもらうことから、指示があった場合には、インターネットに接続できるよう準備しておくこと。
3. 課題については学生間での振り返りの時間を設け、知識の理解・向上を図る機会とする。

4. 各回の講義で得た学びや疑義は、レスポンスカード（300字程度）に記載し、講義時間内に提出する。解説とフィードバックについては、次回講義時に行う。

5. レポート課題並びに提出方法は、最終回に指示する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表1）：保健医療福祉行政論

看護師（別表3）：専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影